（昭和33年3月18日第三種郵便物認可）

新潟県公民館月報

昭和36年11月1日（毎月1回1日発行）
発行所　新潟県公民館連絡協議会
（新潟市寄居町・越佐自治会館内）
（振替（新潟）　4094番）
（電話（新潟）2.7954番）
発行人　安沢　純正
（定価　一部八円）
11月号（105号）

全公連速報

全国大会に荒木文相が出席

記念講演の講師を内諾

ことしの第十回全国公民館大会は全公連および地元栃木県教委同公連で着々準備を進めているが、とくに記念講演の講師については各方面から候補者をあげて検討を加えていたところ、本月早々寺田会長が上京したところ、荒木文部大臣を訪問して懇請をさらに関係者の意見もきいた結果、十周年の記念式典もあって荒木文部大臣に繰り合わせ出席を乞うこととし、あわせて記念講演も依頼することとなり寺田会長が、とくに社会教育についての抱負を述べてもらうよう希望をしているとのである。

荒木文部大臣には文教政策結成式における天野文相以来のこと

公民館の画期的拡充を図る

政務次官会議で申し合わす

政府ではかねてから文教施策について検討を加えていたが、さきごろ各省の政務次官会議において「当面の文教施策について」の申し合わせがあり、これは九月二十二日の閣議に報告されて全面的な了解を得た。

このなかには「公民館等の社会教育施設の画期的拡充をはかる」ことがとりあげられており、このの具体化に大きい期待がかけられる。

この申し合わせは、新聞その他に詳細な報道がなかったので関係者文教施策の活発な展開及び当民の自覚に基づく自主的な成人教育活動に対する一層の助成を図る必要がある。

このため、左記の諸事項について、その実施に努めるよう推進すること。

記

文教施策の円滑な実施と呼応して、国民の生活に即した国民自らの工夫と努力による生活向上の気運を育成するため、真の民主主義の基本を培う成人教育活動に対し相互の連携いと助成を図る措置を講するとともに、青年学級、婦人学級等の開設の促進、公民館社会教育施設の画期的拡充を図る等、成人教育を推進することとする。

当面の文教施策について

（政務次官会議申し合わせ閣議報告九・二二）

変動する国際情勢及び革命的な技術革新の状況に適実に対処してわが国民族の将来の運命を担うに足る青少年を育成することは焦眉の急務である。このことに鑑み、文教政策は健全な民主主義国家の高度の成長をはかるための諸政策のうち最も重要なものである。

もとより文教施策の基本は、わが民族、国土、文化を愛し、良い日本人として国際的にも尊敬と信頼を受けぬに足る青少年の育成にあることはいうを俟たないが、当面現在の教育にみられる偏向を是正しつつ、国造りの基礎となるべき文教施策の活発な展開及び当民分のみつぎに抄録する。

（茨城県自治会館での開会式風景）

盛会だった関公連大会

水戸

単行法制定　国庫補助増額など打ち出す

さる9月28・9日の両日全国大会へのステップともいうべき第三回関東甲信越静公民館大会が水戸市駅前茨城県自治会館において開催された。本県より高田市飛田館長（本会副会長）栃尾市熊倉館長（本会理事）本会庵原常任理事，事務局本田清の四名が参加，他都県参加者約80名，地元160名総計240名によって熱心に討議がくりひろげられた。最終三の全体会議では緊急動議をふくむ大要次の大会決議が提出され，これを採択，後日事務局において成文化したものを関公連大会の名において全国公民館大会にもち込むことになった。

決議のおもな内容

❶ 公民館を義務設置とすること
❷ 公民館の単行法を制定すること
❸ 公民館施設備費の増額をすること。
❹ 米軍基地周辺公民館に対し公立諸学校施設と同等の補償を要求すること。（埼玉県狭山館長提出）

熱意認められた長期講習

県費補助三十万を可決

県公民館職員長期講習予算については一部概報のとおり、去る十月九日開催された定例県議会において上程され、追加要求額二十万二千のところ十七万三千円が議決された。当初予算十二万七千円を概決しているので、合計三十万円が認められたわけである。なお講習は準備の関係もあり十二月以降になるもようである。

目次

第二室戸台風による県内公民館の被害……P2
文部大臣賞の牧村公民館……P2
県公民館連絡研究会終る……P3
関公連大会全体会議より……P4
関公連大会記念講演……P5
婦人の学習内容は従来どおりでよいか……P6
社会教育主事講習を終えて……P7

11月の歴史

ショウ

一九五〇年十一月二日、この日死んだイギリスの劇作家。人生のための劇を目ざし、イギリス近代劇を確立した。社会主義運動に参加した実践家でもあった。

× ×

われわれがルンペンとちがって余暇をほしがるのは、それによって自分の好きなことを、よりたくさんしたいからです。それはドレイが獣的な強制のもとに仕事をしなければならないのとは、まったくちがいます。ルンペンは余暇をむだに使ってしまいますから、みじめなのですがわれわれは、その余暇を用いて幸福になろうと思っているのです。忘れないでいただきたいのは、余暇は休息ではない、ということです。休息は睡眠のようにしなければならないものです。本当の余暇とほわれわれの好きなことをする自由であってなにもしないということではないのです。

（自由の自然的限界）より

第二室戸台風による県内公民館の被害

五十二館被害一千万円を超える

補助起債等の緊急措置を交渉中

第二室戸台風によるこの公立社会教育施設の被害状況を各市町村教育委員会を通じ調査した結果は次の通りであった。

被害のあった公民館は五四館でその被害額は一〇、七九八、三〇〇円また図書館は四館で一〇、六〇〇円、博物館は二館で二、三〇、九〇〇円、合計六〇館、総被害額は一、〇三〇、八〇〇円に及んでいる。

被害の内容は、全壊二館、半壊一館のほかは、主に屋根、ガラス戸、壁等の破損が多い。なお災害による公民館に対しては、国県においても従来から何んらの措置も講じられていなかったため、補助起債等の獲得は望めそうもないが今後あらゆる機会を通じて、これらの特例が認められるよう努力していくことになっている。

被害公民館名

長岡市　富曽亀公民館
〃　官内　〃
〃　栖吉　〃
〃　上川西〃
〃　大島　〃
加茂市　加茂市〃
〃　下条分館
見附市　見附市中央〃
〃　葛巻　〃
〃　新潟　〃
見附市　上北谷〃
五泉市　五泉市〃
白根市　白根市〃
新発田市　新発田市〃
〃　〃　五十公野分館
燕市　燕市〃
〃　〃　小池分館
〃　〃　小中川〃
〃　〃　松長　〃
三条市　三条市中央公民館
出雲崎町　出雲崎公民館
〃　出雲崎駅前〃
吉田町　吉田町〃　寨津分館
横越村　横越村〃
豊栄町　豊栄町中央〃
豊栄町中央公民館
城山分館〃
大月〃
水原町　堀越村〃
巻町　巻町公民館
〃　〃　中郷屋分館
〃　〃東町〃
〃　〃　鷲ノ木〃
巻町　巻町公民館
〃　〃　竹野町分館
〃　〃　福井　〃
〃　〃　入篠館〃
〃　〃　松野屋〃
〃　〃　角田〃
〃　〃　並岡〃
〃　〃　越前浜〃
弥彦村　弥彦村公民館
神林村　平林支館
村松町　村松町公民館
小須戸町　小須戸町〃
佐和田町　佐和田町〃
相川町　相川町〃
与板町　与板町公民館
栄村　栄村〃　福島支館
〃　〃　大面支館
高柳町　栃ケ原〃
刈羽村　刈羽村〃
入広瀬村　入広瀬村〃大桁山分館
中之口村　中之口村〃東分館
〃　〃　西分館
黒姫村　黒姫村〃

全国優良公民館十館きまる

文化の日文部省で表彰式

ことしの第十四回優良公民館表彰は、つぎの十館にたいし十一月三日午前十時から文部大臣室で荒木文部大臣から授賞されることに決定した。

なお、これらの代表者は例年のとおりこの日の午後、宮中を拝観し天皇陛下にお目にかかることになっている。

優良公民館

宮城県古川市公民館
山形県鶴岡公民館
福島県会津若松市公民館
新潟県東頸城郡牧村公民館
石川県松任郡山島公民館
三重県上野市公民館
大阪府貝塚市公民館
広島県福富町立東公民館
山口県萩市中央公民館
福岡県築上郡吉富町公民館

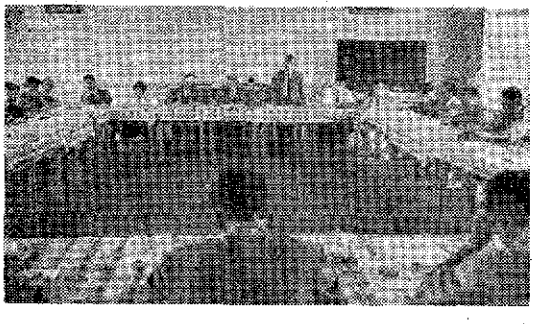
☆表彰に輝く本県牧村公民館

理事者住民一体の努力が実る

第十四回優良公民館の文部大臣表彰が十一月三日文化の日に行なわれたが、本県からは東頸城郡牧村公民館がえらばれ表彰をうけた。

牧村は人口七、七六五の山村小規模町村ながら公民館の必要性を痛感し、村理事者住民一体となり早くから模範的独立公民館を新築し設備・運営の充実につとめてきたが、隣接する小、中学・定時制高校との密接な連けいのもとに村づくり、人づくりの拠点となっている。

なお、有線放送の活用・各種グループの育成など多面的な活動が行なわれているが、婦人学級は県の委嘱をうけ活発で青年学級・青年団の活動が顕著であるのは公民館のたゆまぬ努力によるものといえる。こんどの表彰はこの努力と熱意に報いるとともに、実績をひろく紹介し全国公民館の指標として社会教育の振興に寄与しようとするものとされている。



【写真は柳水閣における幹事会庵原常任理事のあいさつ】

第二回主事幹事会

実態調査票を持ち寄る

集計果結は市町村の行政指導の資料に

第二回主事幹事会の決定にもとずく、公民館職員等分実態調査票のとりまとめのため、去る九月二十七日新潟市柳水閣において第二回主事幹事会が開催された。調査票の回収率は思いのほか良好で、この日欠席の二、三の郡市をのぞくほぼ八十五%が集まった。この調査票は十月十月から約三日間にわたり、事務局においてアルバイトをやといあらましの集計を終り十月十三日開催される常任幹事会に細目の集計をすることになった。

なおこの調査票の集計結果は、県公連、県教委を通し県内市町村当局への行政指導の資料として役立てるほか、本紙にも逐次発表していく方針である。

常任幹事会

自由記入欄集計になやむ

十月十三日県庁年の家において県公民館職員実態調査の集計のため飯浜幹事長以下六名の常任幹事によって主事常任幹事会が開かれた。調査票の各項目ごとの集計はアルバイトをやといすでに事務局において大半が終了していたのでこの日は主として調査項目の自由記入欄のとりまとめについて協議がなされた。この自由記入欄の要望記入事項は、思いのほか多方面にわたっており、同内容の要望事項をとりまとめるため、ベテランぞろいの各常任幹事も頭をなやました。この日まとめきれなかった公民館関係の集計は、鈴木副幹事長が職員関係は杉野副幹事長が、それぞれ自宅に持ち帰りまとめることになった。

県公民館運営研究会終る

総合的状件整備を急げ

文部省主任官、県社教課長の講演を聞く

十月二十四日午前十一時より新潟市内県婦人会館で県教委、県公連共催による「県公民館運営研究会」が開催された。各市町村公民館運営審議員、公民館長、主事、社会教育関係職員など約一五〇名の参加者があり、公民館の運営について講演、実践発表等による研究討議が行なわれ、予定どおり三時二十分終了した。

当日の講演のうち〝新らしい公民館のあり方について〟と題して文部省社会教育局俊教氏は「進展する社会に公民館も乗り遅れないよう施設、設備、職員を充実するために総合的状件整備が急務である」と述べ、また小野塚県社教課長は〝県内社会教育の問題点と公民館〟と題して「国、県市町村の理事者もまた国民一般も社会教育の必要に対する認識が不足している。本県公民館は一〇〇%設置が完了しているので少し安心しすぎていた感があり、社会教育の中心センターとしての公民館の重要性を再認識しなければならない」とするものであった。講演内容のあらましは次号に特集する予定である。

また実践発表では次の三氏による地域の特色ある活動状況の発表があった。

❶成人教育の現状と問題点　西蒲巻町公民館主事北川郡司

❷栄村公民館の運営と若妻学級　南蒲栄村公民館主事小倉三治

❸新井市泉分館における新生活運動、新井公民館運営審議委員　堀川数衛

【写真は実践発表のもよう】

新生活運動訪問集会

研究集会開催要項

1．趣　旨

地域住民の生活意識をかため，身近かな問題や地域社会の問題を解決し，文化的な生活の創造をめあてとする新生活運動と訪問集会は，県下各地でかなりの発展をみせ，それ相当の成果をあげているが，しかし地域住民全体の下からもりあがる自主的な活動としていくためには，まだまだ多くの問題を残しているように思われる。

この研究集会は，新生活運動や訪問集会の当面している具体的な問題をもちより，両者の有機的な結びつきや〝その効果的展開方法について研究協議しようとするものである。

2．主　催

新潟県教育委員会，新潟県新生活運動協会
新潟県公民館連絡協議会　開催地教育委員会

8．期日と会場

昭和36年11月21日（火）～22日（水）　高田市北信会館
昭和36年11月27日（月）～28日（火）　長岡市農研会館
昭和36年11月29日（水）～29日（木）　新潟市県青年の家

4．参集者

市町村長，市町村会議員，市町村教育委員，市社会町村教育委員，市町村教委職員，公民館職員，社会教育関係団体役職員，部落長，町内会長，隣保班長，農業関係団体役職員，学校教職員，その他新生活運動，訪問集会関係者

5．講　師

新生活運動協会事務局長　安積徳也殿
新潟県教育庁社会教育課長　小野塚志義殿

6．日　程

第1日目

9.00～10.00	受　付
10.00～10.30	開会式
10.30～12.00	新生活運動の現状と考察（安積講師）
12.00～1.00	昼　食
1.00～2.00	社会教育と新生活運動（小野塚講師）
2.00～3.00	実践発表（3名）
3.00～5.00	分科会討議
5.00～7.00	夕食・休憩・入浴
7.00～9.00	映画・レクリエーション・自由討議

第2日目

9.00～11.30	分科会報告・全体討議
11.30～11.40	閉会式

新井市公民館に乗用車

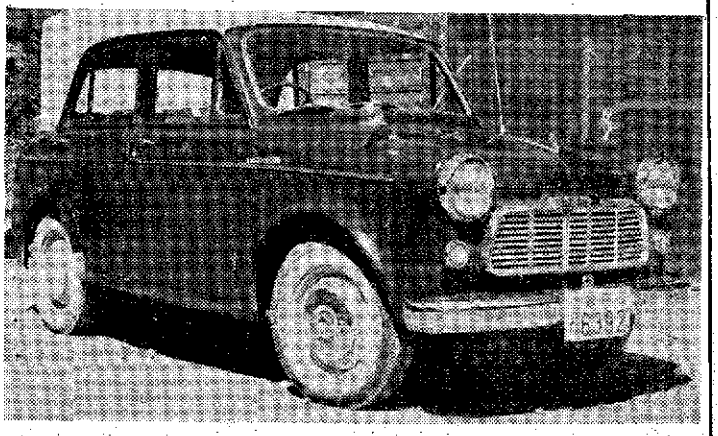
吉田氏（内山館長の教え子）が寄贈

新井市公民館（内山義文館長）にこのたびダットサン（59年式）乗用車一台が寄贈されたという明るいニュース。

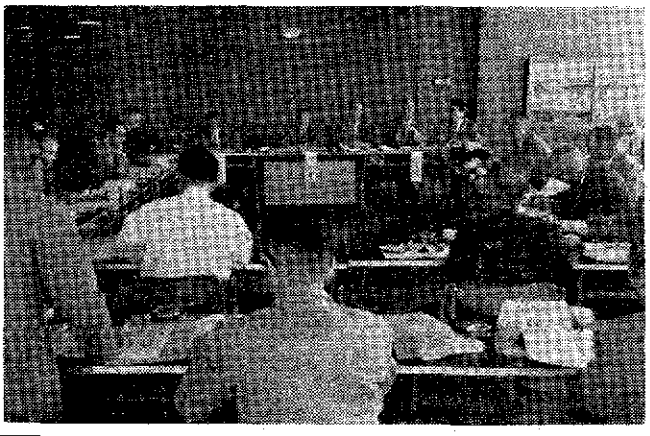
この寄贈者は，いまをときめく日産自動車販売株式会社取締役会長，吉田政治氏（62）―旧矢代村出身―である。

吉田氏は，新井高等小学校，有恒学舎（現有恒高校）に学び，新井市長増井氏，同市教育委員長岩佐氏等と机を並べ内山義文氏（現館長）の教えを受けた人である。

この話は，たまたま同公民館関係者が上京中，日産自動車K・Kを視察した折に「公民館活動を活発にするには，機動力が必要だ，せめて中古の自動車でもあったら。」とのことを耳にした吉田氏が，こころよく寄贈を申し出たもので，車は988CC，34馬力，グレイと紺のツートンカラーのスマートな4人乗り。秋晴れの一日，同館杉野主事らがはるばる東京から公民館へ乗りつけた。



関公連大会全体会議より



本県飛田副会長司会による第二分科会の模様

第一分科会（都市部会）の報告

・地域の物的開発は進んでいる」が、人間開発が遅れている。

・公民館の位置づけが大きな問題になっているが、都市における類似施設の活用等をもっと活発にする必要がある。

・公民館を義務設置制にし職員の増員、施設々備費等の補助起債等の増額をしてもらいたい。

・現行法を破棄し公民館法の単独立法をする必要がある。

・類似施設でホール中心のものがたくさん建っているが公民館は置き忘れられているような状態である。

・市民の生活に結びついた高度の活動内容が必要である。

・公民館の要望が文部省に反映していないような状況なので要望を実現するような態勢にもって行ってもらいたい。

・人間教育の問題は国策としてとりあげるようにしてもらいたい。

第二分科会（都市近郊部会）の報告

・都市近郊は、人口の増大がある一方農村地帯では青少年の減少をきたし、青年学級の運営がむつかしくなってきている。

・家庭生活形態が変ってきている。夫婦中心の構成がふえてきた。地域住民が行事羅列主義だけでは満足できない状態になってきた。

❸公民館は時代とともに立派なものにする必要がある。公民館は公費で建ったもの、住民の寄附等によって建設されたものなどがあるが、基準に満たないものが無数にある。文部省の補助起債をさらに増額するために、関公連大会の名において全国公民館大会にこれを提案してもらいたい。

・公民館自体の組織づくりをしっかりやらなければならないがその動機づけとして、職員の資質の向上と整備が急務である。

第三分科会（農山漁村部会）報告

・地域の産業構造が変ってきた結果、個々の連帯感がうすれ婦人会青年団等の組織が弱まってきた。また公民館に対する魅力もうすれてきた。

・学校教育と同様公民館も義務設置とするため、国庫補助だけでなく、県においても積極的な施策をたてることをのぞむ。設置の範囲は小中学校単位の最少限でやってもらいたい。

・職員の格規程を明確にするための努力として、新潟県では職業講習に単位をあたえるという方向に運動中である。

各分科会報告のあと文部省社会教育課長赤石氏に対して参加者の質問があった。その回答内容の概要

・文部省では社会教育施設設備を十カ年計画で整備充実する。公民館基準では一〇〇坪ほどと規定されているが、将来は一五〇坪以上に拡大した準にしていこうではないかと思っている。このため施設設備費をふくめ本年度は約二億七千万円を要求している。

また公民館単行法は全公連においても考えられているようだが今日また単行法制定の機運が盛り上がったことはよいことだと思っている。文部省では従来の補助対象にのみこだわらず、時代の要求に即応した品目にも補助起債のワクをひろげ力のある公民館にするための努力をする。

（前月号五面よりつづく）

E　積極的敢斗態度の育成

イ．「がんばり運動」「歩こう運動」の実施

◦国体開催を契機として，心身を鍛錬し物事をやり抜く気概を養成し「がんばろう」「歩こう」を合言葉にしようとする運動

◦歩こう運動の実施では学校等の遠足はなるべく乗物をさけ青年団の会合でバスで行くときは自動車で，自転車でいく所は徒歩で行くようにする。

◦サイクリング講習会を各市町村で実施する。

ロ．サイクリング講習会の開催

◦年間計画的に体育指導委員を中心に市町村において実施する。

ハ．各種運動競技会における選手の精神面の強調

ニ．選手強化合宿における不撓不屈の精神の涵養

◦国体開催県の代表となる選手として，その栄誉と責任を果すために，特に技術面の向上とあわせて精神面の涵養をはかる。

各種目別競技団体の指導者，選手一丸となって各事業を通じてその協力をのぞみたい。

ホ．各運動競技の本質の理解と，各競技の正しい見方と声援のし方

◦各運動競技のゲームの内容，勝敗のあり方など，その競技の本質的な理解と特に開催市町村においては，それぞれ開催される競技の観方や拍手等の応援のし方声援等について参加選手に好い印象を与えるよう研究する。

F　その他

イ．国体受入れに関する標語の設定

◦従来開催県で，受入れに最もふさわしい標語が設定されてきた例をあげるならば「第13回富山では「富山国体はみんなの力で」第15回熊本県では「国体はみんなの力で，まごころで」「国体だ街をきれいに親切に」というような標語が設定された。第19回の本県の国体意欲をあげるためにはどのような標語がもっとも適当か，この標語を設定しようというのである。

ロ．「県民の歌」の制定

◦第19回の本県国体を契機にどこでも，いつでも声をあわせて高らかに歌える健康で，明るい「新潟県民の歌」を広く県民の中から公募して国体の記念歌としてこれを制定しようというのである。

ハ．県の国体旗の図案制定

◦開催県として県を代表する国体旗の図案を広く県民の中から公募し，もっともその象徴としてふさわしいものを制定する。

ご寄贈ありがとう

日蔵公民館だより、下川西だより、王寺川公民館だより（長岡公）新潟郵便局ニュース。いといがわ（糸魚川公）。広報こすど（小須戸町公）。新潟保護観察。新潟自由民主（自民党県支部）。しおさわ（塩沢町公）。広報かわにし（川西町公）広報おおしま（大島村公）広報とちお（栃尾公）広報つばめ（燕公）川口町公民館報。町のあゆみ上川村公民館報。なだち（名立町公）。公明選挙時報（選挙管理委）。館報たがみ（田上村公）、むいかまち（六日町公）キャンプの記録（柏崎青年学級）。新潟社会福祉（県社会福祉協議会）。津川町公民館報。町のあゆみ（吉田町公）。広報つばめ（燕市）。さわだ（佐和田町公）。笹神公民館だより。安塚町公民館だより。十日町地区だより、（吉田町公）。守門村公民館報。豊栄広報。柏崎青年学級資料カード。柏崎日報。真野公民館報

社会教育をめぐる諸問題

文部省赤石社教課長講演要旨

〈関公連大会記念講演〉

学校教育でも進展する社会の諸問題をとりいれようとしている現今である。社会教育は定型的なものでなく、進展する社会の方向を方向として是認し、これに順応する教育を捉えるべきである。戦後アメリカの指導で男女同権となり同権であるにもかかわらず「女」の方の教育のみ特別に云々すると叱られた。一昨年から婦人教育予算が急に増額した。青年学級は青年が自主的に働きだしたものとされている。その発足当時は一般教養の追究だったが、昨今は職業学究に進展してきた。このほか新生活運動、公明選挙運動、消費者教育、労働教育、とそれぞれの組合や総評、全労、労働組合等があげている社会教育の（ひとり文部省のみでなく）分野は広い。私は公民館はよく知らない。が公民館活動もまた時代とともに進展変貌してゆくべきであろう。これを前提として三つの問題をとりあげたい。

ちょっとひろうだけでも社会教育には左のような問題がかぞえあげられる。1、勤労青年の将来。2、社会教育主事の設置をめぐる諸問題。3、学校教育と社会教育の連携。4、社会教育の総合推進。5、成人教育の内容と体系化。6、社会教育における国都道府県市町村相互の関係。7、財政措置の問題。8、社会教育の対象、範囲の拡大。9、都市の社会教育振興策。10、施設の整備充実。11、通信教育の拡充。12、市民性家庭の民主化。14、指導者の問題。15、評価の問題。16、職員の身分保証、待遇。17、余暇利用の社会教育。等々

さて第一に勤労青年の将来について。これにはⒶ青年学級、とⒷ社会通信教育、の二つの問題が考えられる。青年学級は、その参加者がかつては百二十万人もあったのに漸減して現在は七十万人になった。減った理由としては第一に中学校卒業者の絶対数の減少、第二に高校進学者の増加、第三に農村在住の青少年が（都市へ移って）減ったこと等があげられるが同時に当局の旺盛な熱意にかかわらず、総体的な魅力が薄れたことも大きく因をなしている。この問題は、学究の機会に恵まれぬ職業乃至勤労青少年にその機会を提供しようとするわれわれが、進んで大いに対決しなければならない問題である。この反面社会通信教育は増加の傾向にある。ここに青年学級が今のままで果してよいのか？が反省されねばならない。❶中学校を卒業してもう少し勉強してもらわねばならぬ青少年の問題。❷年令にこだわらず、むしろ年長青年が「われわれ自身の手で学究を伸ばそう」と地域の課題ととりくむ学習の場を提供する問題。❶については、義務教育を十二年に延長するべきだとの説もある。が現実政策としては困難。これに対し社会の生きた声が、社会の本当に要求する大工、左官等色々な技術者が、それで果してつくられるか、と反論するものもある。米国は九〇%まで高校へ進学する。日本でもとことまでとことまでゆけぬとは無いという説もあるが、文部省では七十五%までの進学をメドとして進めている。定時制高校の拡充が足りぬから高校進学率が伸びないのだとの声もあるが、社会教育の立場から諸事情を考えると勤労青年の高率な定時制高校進学には無理が伴のう（在学生の意識調査の結果がこれを物語っている少なくとも英語や数学に弱いものが勤労青少年の実態であるから）。❷については、企業界では労働省の職業訓練に期待をもつ！との声が強い。ここに産業学級を義務制としてとりあげるべきでないかとの世論が起るのである。この辺で日本独自の青少年教育の結論を出すべきだと思う。次に、

社会教育主事の設置をめぐる諸問題。昭和三十四年の社会教育法改正による四つの重点（市町村に社会教育主事を必置にした。社会教育関係団体に対する補助金の支出禁止の規定を削除した。公民館の基準を設定した。市町村の社会教育委員に青少年教育に関する特定の事項について助言指導することができるようにした）の四点の冒頭にある社会教育主事の必置制について、これの重要性に伴のう主事資格を附与する講習は、押すな押すなの志望者で盛況であるにもかかわらず、市町村での右主事設置の趨向はおもわしくない。即ち東京都と市において五十四%、三万以上の町村で四十三%、一万以上の町村で二十七%、一万未満の町村で六%（いずれも十六年四月十五日現在）という情況。受講修了者の採用率は三十四年度のもの専任三十三%、兼任を加えて五〇%。三十五年度のもの専任三十三%兼任を加えて四〇%。かかる不振を招く因を探るに左の六つの理由があげられよう。

一、市町村長の社会教育に対する理解が乏しい。二、先きたつ金が現在の交付税程度では不足だ。三、設置への熱意がある市町村の場合でも人がない。四、金も人も見当はついたが俸給が低いし身分保証が不安でなりてがない。五、社会教育主事のさきゆきの発展性安定性がない。六、実質的な定員増にならずに場所替え等でいいかげんの採用になりがちである。等々。次に、

学校教育と社会教育の連携。この二つの教育差は非常なものである。例えば教える人（指導者）。教育の場。施設々備。財源、等々の格差が十指に余る。しかも法律でもこの両者の連携を規程している面が案外すくない。しかし、公民館の運営審議員の構成員をとおし、又PTAをとおして見るところ社会教育の方では学校教育にサービスする向はあるが、学校教育では従来のようには社会教育の面倒を見ない。学校の先生が師としての立場から、その学校の卒業者の一生の世話をした昔のような傾向はない。学校教育は進学指導にのみうつつをぬかしている。英米の大学は社会教育に非常に熱心、したがって大学経営の費用も国費月謝のほかに多額の寄附金もある。講習を開催した場合資格を与えるところまでいっている。日本では組織だった公的な社会教育的講座は私立大学の方が意欲的である。官立大学の方が意欲的である。官立大学はアカデミックの考えが非常に強い。これは英米のように学校教育と社会教育とが強く連携するべきであって、即ち学校開放が社会教育振興にいかに重要であるかということは論をまたぬ。私は思う。「両教育を通じて人間教育の体系化、総合化が必要である」と。つぎに、

社会教育の総合推進について。総合推進をなぜ提唱だしたか、といえば、それぞれの行政分野、（農林省関係、厚生省関係、労働省関係、文部省関係等々）で、それぞれの教育的な仕事を実施しているが、この場へ社会教育が出て、なわちこのサービスが総合推進であるのだ。にもかかわらず、社会教育そのものにおいてすらPTA公民館、青年団、婦人会、農婦、青連、日く何々、とバラバラな活動をしている向きが強い。同じことを社会教育の内と外とで思い思いにやる。特に青少年教育に関して然りである。ここに総合社会教育が提唱されだした原因があるのである。なお社会教育は進んで地域発展の根本策である総合開発計画の中に緊密に織り込まれるまでに至るべきであろう。

このほか成人教育の内容と体系化では、今後われわれは国際人として成長すべきだから、自国語のほかにどこかの外国語の一つ位は日常にしゃべれるよう、この方面の学習をとり入れることも十分考慮したいし、またレジャータイムの善用、生活の中にこれをどうはめ込むか等の工夫をおろそかにしてはならぬ等のことにふれ、さらに国都道府県市町村相互の関係については、あくまでも本省が最高の指導機関ではないから、その地域の実情に即した地域独自の計画による社会教育の振興を期待するとともに、これら双方の相互連携を密にすることが必要である。都市の社会教育振興については、農村から出てきた勤労青少年をどう捉えるか、また集会に男の参加がほとんどない現況をどう打開するか等、至難な問題がたくさんある点を指摘したが、時間が切れて言いつくされなかった。

以上赤石課長の講演の要旨を略記した。（庵原健記、本会常任理事）

写真は講演中の赤石氏

婦人の学習内容は従来どおりでよいか

生活段階による関心調査の結果から

石川秀雄

今後の社会教育

婦人学級をすすめてゆくうえにいつも新婚ホヤホヤの新妻から白髪まじりのシュウトばあちゃんまで、十把ひとからげに考えていっていいだろうか、という疑問にぶつかる。

婦人の結婚平均年令を二十二才とし、学習参加者の最年長を六十才とおきえた場合、三十八年（才）の年令の隔たりがある。またこどもを生み育てるという婦人共通の面からみても、新婚の新妻、幼児の母親、学校という教育機関にこどもをおくっている母親、年ごろの子をもつ母親、結婚適令期の子をもつ母親またはシュウトの位置にあるものと、生活段階により、家庭における位置と役割も幾つかに分けて考えることができる。

したがって、婦人の生活課題や学習したいと思っている内容は、共通のものだけでなく生活段階によって、それぞれ異なったものもあるのではないだろうか。この点の解明や研究を行なわない限り、巾広い婦人の各層に浸み透った組織的、継続的な学習活動を育てていこうという姿勢にはならないような気がする。

そこで、試みたのが「婦人の学習に対する生活段階による関心調査」である。この調査は❶婚約中のものから結婚して一年以内の新妻❷乳幼児をもつ母親❸小学生の子どもをもつ母親❹中学生から年ごろの子どもをもつ母親❺結婚適令期の子どもをもつ母親またはシュウトの位置にあるもの、と五つのグループ（段階）に分けて、四十人づつ合計二百人にアンケートで「生活段階による学習内容のちがい」と「婦人共通の学習内容」を探ぐってみたのである。

その結果、❶新妻グループでは結婚の本質や夫婦の愛情（六八％）、妊娠から出産までの知識（四八％）、乳幼児の育て方（四五％）となっており、こうした内容に学習したいという関心が示されている。❷のグループになると乳幼児の育て方（八五％）がもっとも高くつぎに幼児の心理（四八％）、こどものしつけ（四五％）、家計簿のつけ方、家族計画（それぞれ三〇％）となっている。さらに❸のグループになると、乳幼児の育て方（六五％）など専らこどものしつけ（六〇％）に関心が移り、家計簿のつけ方や家族計画はおなじく（三〇％）となっている。❹のグループでは、年ごろのこどもの扱い方導びき方や青年期の心理（それぞれ六五％）などに重点がおかれ、家計簿のつけ方（六〇％）もぐんと高くなり、逆にこどものしつけは（三五％）にさがってくる。そして、あらたに青年期障害の問題やレクリエーションの問題が大きくとりあげられてくる。❺のシュウトのグループでは、やはりこどもの結婚問題が（八八％）、年ごろのこどもの扱い方導びき方（六三％）、そのほかにここでは更年期の問題とともに老年期の健康の問題に関心がよせられてくる。こどものしつけは僅か（一〇％）にすぎない。

つぎに各グループ共通の学習内容としては家庭内における人間関係、料理の作り方、時の話題の解説などである。

家庭内における人間関係についての関心度は、若妻のグループやシュウトのグループよりも❸の中年グループにもっとも強く（九八％）料理の作り方についても❸のグループが（五八％）で一番関心が高い。時の話題や用語の解説については、やはり❸のグループが高く、続いて❹❶❺❷の各グループの順となっている。（注、回答ねがった各グループの平均年令は❶が二三才、❷が二七才、❸が三五才、❹が四五才、❺が五〇才となっている）。

この調査は、「生活段階によって婦人の学習したい内容に、それぞれ違いがあるのではないか」という点と「婦人共通の学習内容はどんなものがあるのか」の二点について、一般的傾向を探ぐってみたにしかすぎない。したがって、あらかじめアンケートに設定した内容の項目は、職業関係や地域の問題などを除き一般的なものだけを二十項目配列したので、この調査の結果は、どこにも通用する絶対的なデーターとはいえない。わたしたちは、これからの婦人の学習活動を巾ひろい婦人の各層に拡ろげていくために、このデーターを参考にして、婦人たちといっしょになって話し合い考え合って研究と実践を積み重ねていこうというわけである。

（見附市社会教育主事）

公民館横丁

○小学生が他県の小学生と交歓訪問することはあちこちにあるが、青年諸君の交歓交流はめずらしい。湯沢町の青年五十二名が八月一日から三日間、神奈川県湯河原町の青年団を訪れ、それぞれ団員宅に分宿し、海水浴をしたり、花火見物をして楽しむと共に、同じような温泉町であるために、観光、産業等の面を共々研究した。冬になると、湯河原町の青年が、湯沢に来て、スキーをしようというわけである。

○この青年の交流がきっかけになって、ついで湯沢町の婦人会がやはり、湯河原町の婦人会を訪問して、交歓学習をやった。こうした事業の実施に当って同町公民館のかげの力があったことはいうまでもない。○人の話をきいたり、頭の中で考えるよりは経験をすることがもっと身につく学習になる。比較的生活が遅れ、考え方が遅れているといわれる村部の婦人会などが年に一回位温泉へ行って心の洗濯をするのも意義があるが、民主的な生活をしているといわれるような地域の婦人会員の家にそれぞれ分宿して、その生活を体験してみることは、得るところが多いと思われる。

（雪老）

公民館訪問

—両津市岩首公民館の巻—

やってみるといろいろの批判が

「県でお金は出せないんですが」—

「訪問集会の研究指定地区を引きうけてくれませんか」

と両津市社教主事石川崇一さんにもちかけてみた。もともと、一生懸命育ててきておられる石川さんと中村与一郎主事さんのことですから、「よし」と一つ返事で承知してくれた。

このほど、研究会があるというので、石川主事さんと訪ねてみた。

中村さんは、

「やってみるといろいろの批判もあるんですよ」ともども次のことがらを指摘された

❶あまり身近すぎて、意見がまとまりにくい。

❷個人の家をもちまわりにして果してうまくいくだろうか。

❸仲間に入らない家をどうするか。

❹隣組の復活になりはしないか

❺家族制度の復活にならないか

❻一部の人の意見に引きずられがちである。

❼ひまな人の遊びになりやすい

❽公民館の点数かせぎに利用される恐れがある。

❾行政機関や産業団体の下働きに終る恐れがある。

❿内容が平凡で、知識人といわれる人たちが逃げて行く。

⓫時間が守れない。

でも岩首公民館の管内で、岩首部落に七つ、豊岡に三、赤玉に五と十五組の訪問集会が研究的にすすめられているとのことでした。一方市の方でも、教育委員会、市役所と合同して「訪問集会分館長研修会」を開催しました。この席上企画課長さんが出席され、シンポジウムで訪問集会と一般行政との関連を研究されたそうです。

この態勢のもとに岩首の研究指定地区はいい成果をあげてくれることでしょう。

（佐渡・島川）

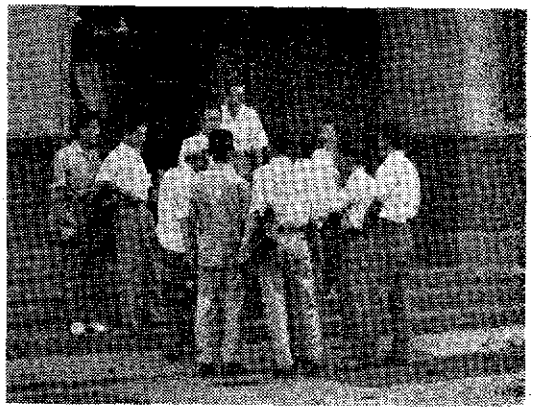
（全課長さん方でのシンポジウム）

社教主事講習を終えて

学芸会場より

社教主講習についての報告は未だ月報に顔みせしたことがないようなので、編集部の要請に首をかしげてみたが、希望して選ばれて六週間学んだのだから報告の義務を覚え感じたままに駄言を弄することにした。

学芸大学に学んだ県勢十五名のうち十一名は紅一点を加え公民館十年の強者で、現場にいる者、教委にいる者、他の四名は学校の先生で、常に社会教育に献身的に協力頂いたこの道のベテラン。二都十県の中で最もチームワークもとれ学習意欲もゆたかで、毛並の点でも特異的存在といって過言でもなかったと思う。



〔学芸大事務局前に勢ぞろいした新潟県勢〕

高邁な目的性格をもった本講習も疲労不快指数八〇～九〇の酷暑の中でメザラ椅子にしばりつけられ決められた時間に社教原論から広汎な単位を詰めこむのだから、さすがに毛並はよくとも抵抗は否定できなかったようである。いうが限られたスペースでは困難なので、幸い機関紙〝涼風〟に表われた講習生の反省感想の方が実感的なので二、三を記してみたい。

◎原論主義の講義の中で、講師のほとんどが同じことを繰り返し述べて講義内容の重複が目立った。

◎わかったような、わからないような受益感と無益感

◎異なった意見の先生方を一堂に囲みゼミナールの時間が欲しかった。

◎承わった講義をみんな忘れてしまいたい。そのあとに残ったものが本物であろう。

◎講義をきけばきくほど、三割社会教育と脱却する道のはるかなるを思い、忙しい社教主事に三時間眠れば足りるナポレオンの如き精力と、同時に七人の話しをききわける聖徳太子の如き英知と、千手観音の如き手が欲しいとひたすら祈った。

◎講師のタイプ

ささやき型、演説型、アジ的ゆさぶり型、理論的説明型、実践的指導型。

◎講習性のタイプ

指導癖型、サービス過剰型、背定型、否定型、懐疑型、一言なかべる者型、沈黙黙考型、週刊誌陰読み型、定期船漕ぎ型、昼間沈黙夜間活動型。

◎青少年研究グループ個殿場の巻

研究討議は研究者と現場の初対面、現場の者は用語並びに理論に弱い。研究者の業想がピンとこない。研究者は現場の事実にうとい。この二つがさまざまな主観により判断され、その判断がからみあい、救われ難い異和感があった。

◎今まで知り得なかったことを学び得て理論と臨床とのからみあいの仕事ができるような気がする。本講習をうけ得ないで現象的な事業にのみ力を注ぎ、悶々たる日を送っている同僚が多くいる。これらの上に本講習の手がのべられることを望みたい。

仄聞するに本講習は今年度限り打切りときく、全くもってのほかである。

◎講習期間中、先輩がなし得なかった教育大の県勢との交歓を二回もてたことは大きな思い出であり、中越地区を襲った豪雨禍に対して講習生一同の示した同胞愛は今もなお印象的であった。

それにもまして学校当局の限りないお心使いは、講習生一同の終生忘却し得ないよろこびであった。

今講習を終えて心に誓いあうことは、多くの学説のなかからだけに、決め手のなおない社会教育といわれる分野で、われわれは早く社教主事の卵からよみがえって、無償でない情熱をこの道にささげたいとねがっている。

水橋忠司記

（長岡市公民館主事）

日暮れに帰る

小倉三治

「作付け半作」とやらで今年も時がしばらく続いた。やっと生また豊作だと植付直後に新聞では報道したが、八月五日の集中豪雨に襲われるまでは全くそのとおり豊作型であった。農民の顔も明るく野良に急く足どりも軽かった。ところが思いもよらぬ集中豪雨で、この豊作型も一瞬にして破れ、気力を失いつつある農民の今日の現状は云うに堪えない痛切さである。ちょうど八・五集中豪雨に村が襲われていた時、私は社会教育主事講習で東京におった。今年は例年にない暑さだと気象庁の報道であったが確かにその通りで東京での生れて始めての夏は特に身にこたえた。

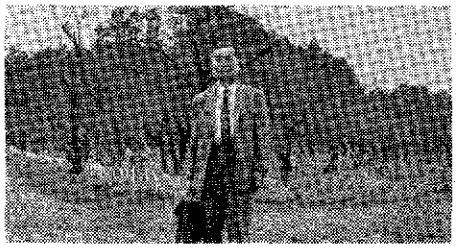
しかし二つの希望と目標を心に描いて受講した私には暑さに負けることは許せないことであった。無能な自分を認めながらもがんばった。ところが水害により稲作は全面的に収穫なしの凶報を手にした時、私の心の中は憤りを覚えずにはいられなかった。そして見渡す限りの荒廃たる山園風景が脳裡を濃くかすめた。握る鉛筆にも力が入らず案人形のような気を取戻したころは講習も終りに近かった。

さて講習も無事終了し帰郷したとき、私が見たものは村に誰もいなかったことだ。農民が明日から食う米がない。明日からならぬことが、一刻を待たずして村人の背に負わされたのであろう。村を離れて近郷の町工場や土建作業へと太陽が昇りきらない早朝から出かけて行く。西に向って自転車で通勤する青年トラックで送り迎えを受けて東へ出かける婦人たち。それぞれ笑顔はつくっていても、その心は暗いであろう。母の出勤する姿を門戸で見送る幼児の姿が、集中豪雨による被害だけではといいたい。

このような実情の中に社会教育は一体どのように進めるべきかどうか。考えれば考えるほど先がまっくらになる。

働らいて働らいてそして日暮れに帰る青年、婦人。このまなで毎日見つめている私も頭の中がまっくらだ。日暮れに帰る村の灯は特別に淡い。

（栄村公民館主事）



偕楽園の梅林前に立つ
庵原氏

水戸行

庵原　健

（関東甲信越静公連大会参加のため水戸の初秋を訪ふ）

中秋の空の深処にそびえたり筑波は山頂に雲を湧かせて
ドりし露しげからむ田畑ひらけたる常陸路の暁をわが汽車走る
夜々の露冷えそめにけむ常陸路の落花生畑はさび色の青
好文亭は極めて質素しかはあれど賢を凝らし風雅の仕組
広庭に植えなめし萩咲くかつがつ散るが美し風もあらなくに
風うまれ乾芝り落葉の数舞ふが閑かなるかなや梅林の午
破戒僧座祝数千を整理して恐れざりしか英主義公は
（義公は徳川光圀）
民所憎大必誅と喝破せし烈公なりき梅にほはせて
（烈公は徳川斉昭）
震天動地と烈公あり俗五尺の大陣太鼓をしみじみ打つに
三百九十七巻の大日本史にいま寄し生にたちこめる義公の命
ひしめける世に距据えて王政復古を下知せし烈公のこれが鎧か
（本会常任理事）

燈火稍可親

県立図書館　落合辰一郎

「灯火親しむ」ということばは、秋になると毎年のように繰返される懐しいことばだが、近ごろはその意味が、少し変って来つつあるのではあるまいか。

このことばの出典は、故事成語大辞典によると、韓愈の符読二首城南一と題する詩巾の句「灯火稍可親」であり、意味は「秋になれば心爽かにして、灯火に親しみ、書を読むに適するをいう」とある。

まことに秋は涼しく、夜は長く心身共に爽かで、読書には好適のシーズンである。

にもかかわらず、近ごろは読書の、秋芸術の秋の節に行楽の秋、スポーツの秋の方が、適りがよくなっているようだ。

こうした中で、一般的な読書の実態はどうなっているのであろうか。

毎日新聞の昭和三十五年度の読書世論調査によると、書籍の読書率は前年度に比し5%余の低率を示している。そしてその原因は、テレビと週刊誌の攻勢によるものと推論されている。

また裏田武夫氏の調査では、個人のコミュニケーション行動の中で読書の占める比率は8%にすぎず消費生活の中で図書費の占める比率は五・四%にすぎないともいわれている。

経済の成長率も伸び、生活にゆとりも出て、いわゆるレジャー・ブームといわれる程の余暇も一般的に出来つつある現在、而も世界でも有数な出版国である我国の原因はどこにあるのであろうか。

こうした読書減退の傾向の社会的

それはとも角として、灯火に親しみ、書を読む姿が、だんだんテレビやラジオを聴視する姿にかわりつつあるように思われる。

もちろん私は活字で代表される読書がコミュニケーションの中で万能だとは決して思わないし、他のマス・メディアのそれぞれの特性はそれなりに生かされなければならないと思う。

がしかし、読書はやはり人間にとって学習の有力な手段の一つであることに間違いはない。

私はここに、エドガー・デールの挙げた印刷物の特性を、改めて想起せざるを得ない。それは

1読者が速度、時間、方法などを自由に調節出来ること。

2くり返しが可能であること。

3読み方が、より完全になること。

4特殊なアピールが可能であること。

などがそれである読書の意義が変ってきているといわれる現在、こんなふうに考えることは、やはり私の郷愁のゆえであろうか。

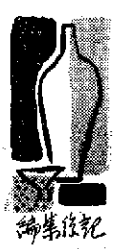
川柳

山田凡楽

長旅の手が汚れてるゆで玉子
たまの街くるまの流れうとましし
横断は直角都会はこうるさし
旅十日金の値打ちがさらになし
退院も近し梨子かむ音をたて
お人よしの夫がまたも客を連れ
娼唱夫和ある日煙突そうじする

（西頸青海C・P・H）

海集後記



関公連大会の分科会でのこと。ある県からの参加者が、施設など無視した活動第一主義をとくとくと述べていました。ふと青空公民館時代に逆もどりしたような感じでした。

全体会議では結局、第二面に載せてあるとおりの決議がなされ、ますますのしめくくりをつけたということができましょう。しかし、他県参加者の考え方のなかには、公民館の義務設置を第一義とする単行法の制定を望んでおり、また施設、職員の充実、身分、資質の向上等の問題には関心がうすいように思われました。

（清）

社教漫言

あまり遠いのでしょう。訪れる人はまれのようです。ところがどうして、佐渡で一番美しい所はここなんです。両津市婦人会の内海府支部総会がここにあるというので、よろこんで馳せ参じました。

この総会では毎年つづけて、体験発表をもっておられるのです。願の在口さん、北小浦の浅井さん、鷲崎の井端さんにつづいて、同じ鷲崎の木問チヨノさんが、二十五年間の体験を話されました。

鍬とピッチョウの生活から、牛耕への変り方の苦労を話されたのです。女手ながら子供たちと手を取りあって「ひまなしヤドカリから、カタツムリへ」を合言葉に今日までやって来たというのです。

ヤドカリからカタツムリへ

二〇トン以上になると税金が多くなるとかで、松崎丸は十九・八トンとのことでした。この船にゆられて、両津から三時間あまりたつと鷲崎につくのです。

この船の生活から、二ツ亀にかこまれた願の風光は一層すばらしい。このあたりのことを、新潟交通の観光案内の説明をかりますと

「皆様、佐渡の外海府海岸は、二〇米から一〇〇米の雄大な断崖が海に迫り、海中の大小無数の岩礁と相待って、豪壮な景観を現しています」とある。

景色はまことにすばらしい限りですが、一番の辺地でもあるのです。ここにいながら、今までカラからぬけ出す生活を、みんなでつきつめておられるのでした。

市の社教主事石川さんと、初秋のすず風をうけながら、地元の方々の心ずくしのビールをほして

「おい、我々もヤドカリからぬけ出ようや」と誓いあった。

（S生）